

2024 年度
仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）
市民意識調査

調査結果報告書
〈概要版〉

2024 年 11 月

仙台市

1. 調査概要

1 調査の目的

令和3年3月に策定した仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）は計画期間が10年（令和3年度から令和12年度）に及ぶため計画期間半ばに中間評価を行うこととしている。令和7年度が計画期間の折り返し年であることから、令和6年度中に市民意識調査を実施し、プランに掲げる定量目標の達成状況等を把握する。

2 調査期間

令和6年9月9日（月）～令和6年9月27日（金）

※令和6年10月10日（木）までの回収票を有効とした。

3 調査対象

市民アンケート：満18歳以上の市民3,000人

中学生アンケート：市内中学校25校の2年生800人

4 調査方法

市民アンケート：郵送による調査票の配布・回収

中学生アンケート：中学校の各クラスを通じて直接配布・回収

5 調査内容

市民アンケート

仙台市の環境に関する満足度、日常生活における環境配慮行動、自然環境の保全、地球温暖化対策についてなど、全7問（選択式、一部自由記載）

中学生アンケート

仙台市の環境に対する満足度、日常生活における環境配慮行動、環境学習に関する興味など、全5問（選択式、一部自由記載）

6 回収数

市民アンケート：1,229人（回収率41.0%）

中学生アンケート：656人（回収率82.0%）

7 特記事項

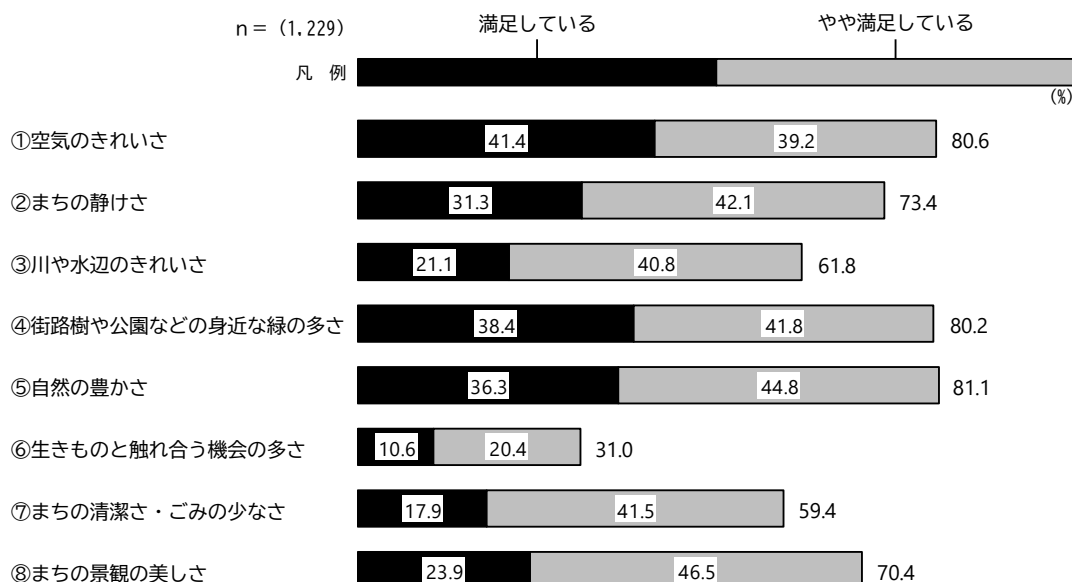
- (1) 調査結果に示す調査数（ $n = \text{number of cases}$ ）は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (4) 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記している。

2. 調査結果

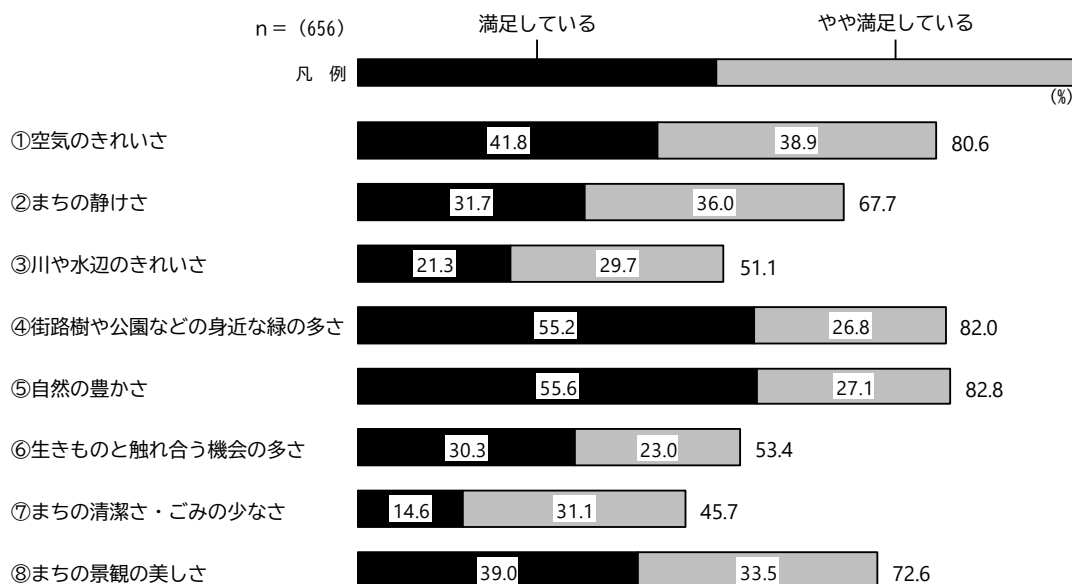
(1) 仙台市の環境に関する満足度について

問 あなたは、現在の仙台市の環境について、次の各項目に関して満足していますか。

【市民アンケート】



【中学生アンケート】



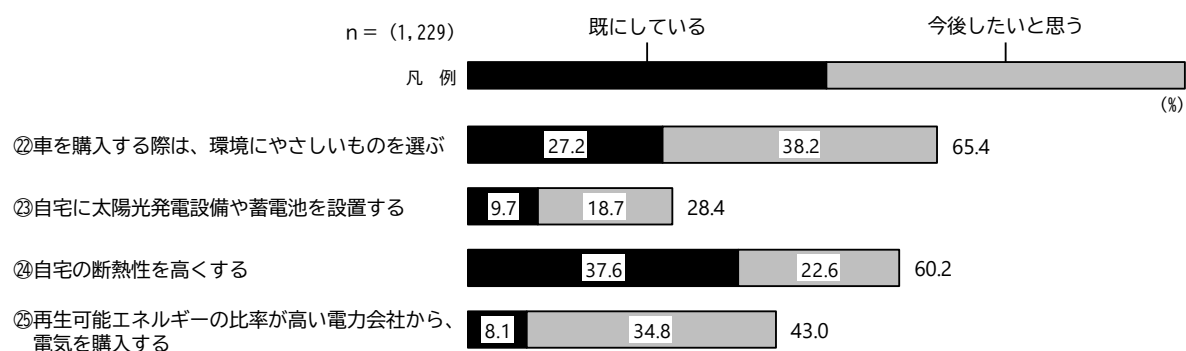
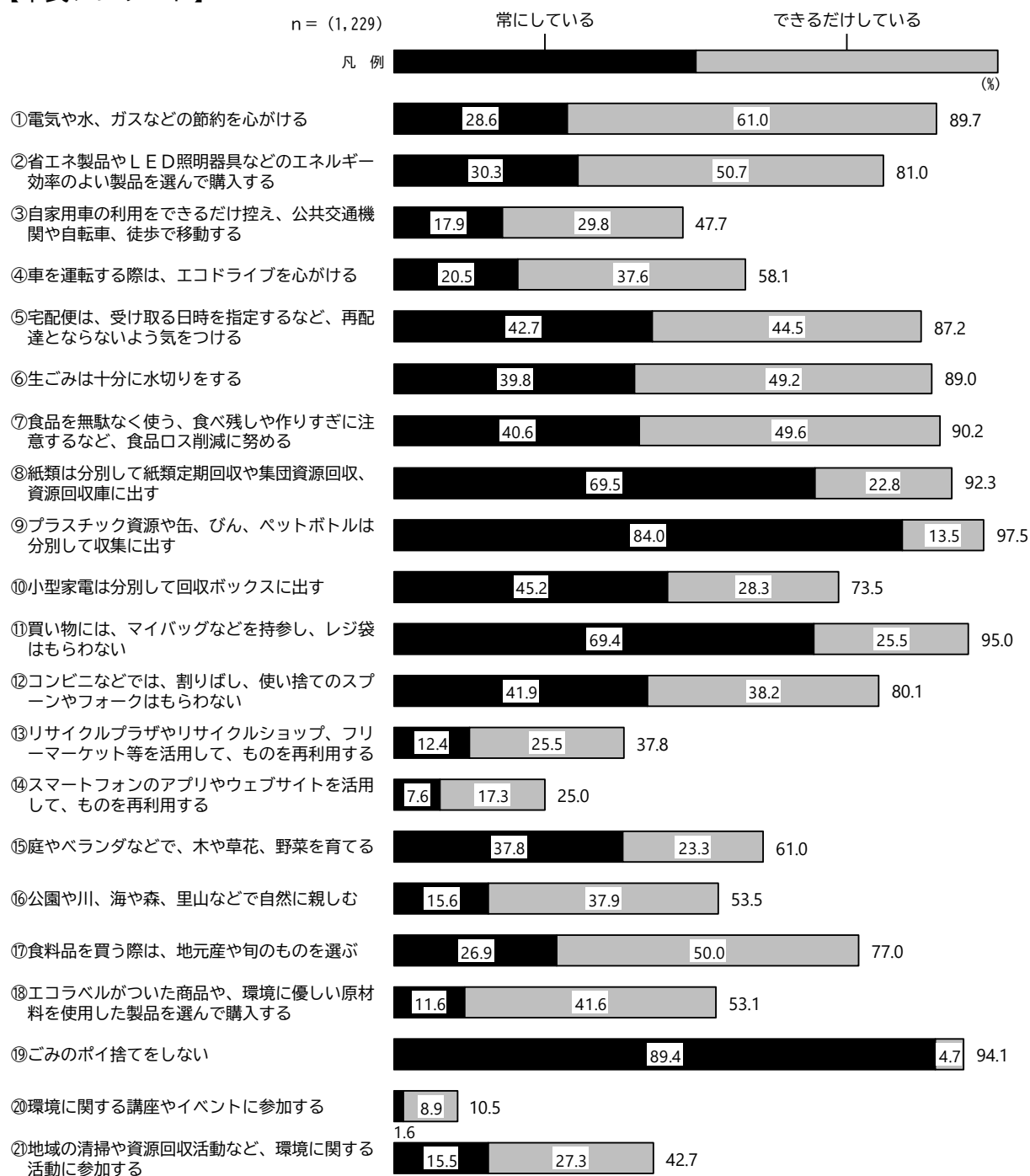
「満足している」又は「やや満足している」との回答について、『①空気のきれいさ』、『④街路樹や公園などの身近な緑の多さ』、『⑤自然の豊かさ』が市民、中学生ともに8割台と高くなっている。

「満足している」又は「やや満足している」との回答について、市民では『③川や水辺のきれいさ』(61.8%)、『⑦まちの清潔さ・ごみの少なさ』(59.4%)が中学生と比べて10ポイント以上高く、中学生では『⑥生きものと触れ合う機会の多さ』(53.4%)が市民と比べて22.4ポイント高くなっている。

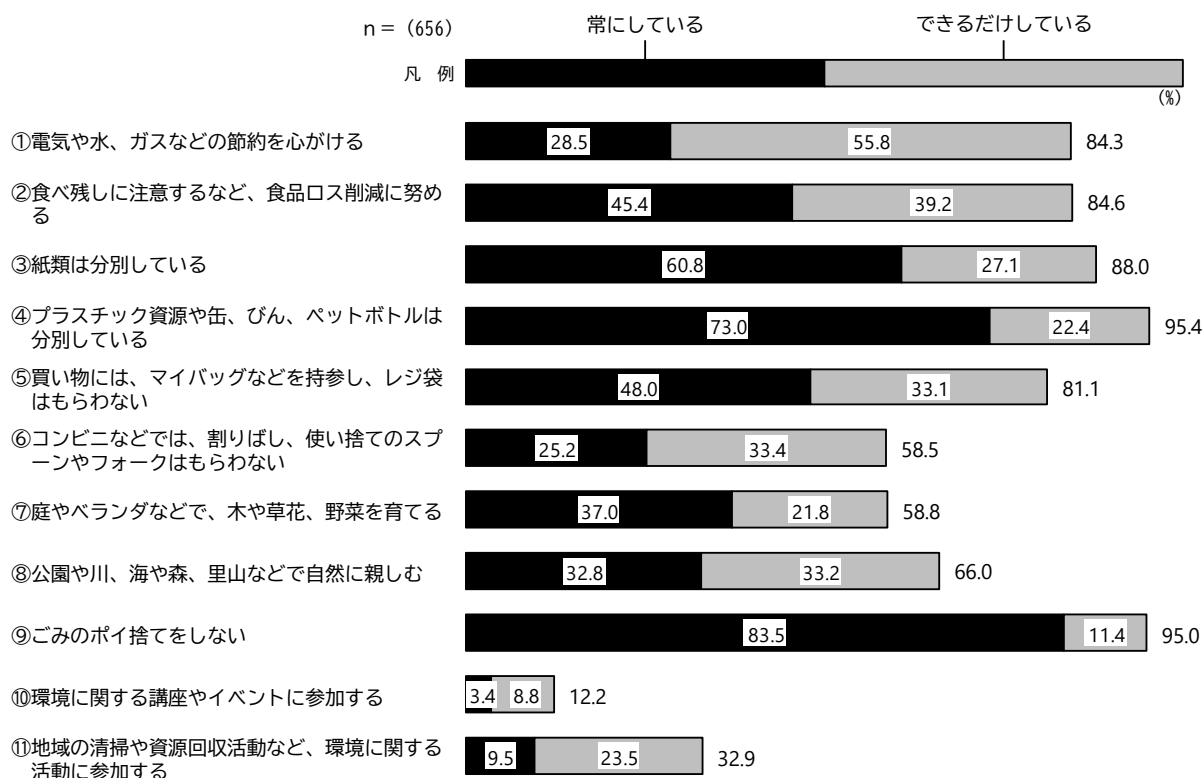
(2) 日常生活における環境配慮行動について

問 あなたは、次に示すような環境に配慮した行動を行っていますか。

【市民アンケート】



【中学生アンケート】



「常にしている」又は「できるだけしている」との回答について、市民では25項目中10項目、中学生では11項目中6項目が8割以上となっている。

特に、市民では『⑦食品を無駄なく使う、食べ残しや作りすぎに注意するなど、食品ロス削減に努める』(90.2%)、『⑧紙類は分別して紙類定期回収や集団資源回収、資源回収庫に出す』(92.3%)、『⑨プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別して収集に出す』(97.5%)、『⑪買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない』(95.0%)、『⑨ごみのポイ捨てをしない』(94.1%)の5項目、中学生では『④プラスチック資源や缶、びん、ペットボトルは分別している』(95.4%)、『⑨ごみのポイ捨てをしない』(95.0%)の2項目が9割台と高くなっている。

また、市民では『⑪買い物には、マイバッグなどを持参し、レジ袋はもらわない』(95.0%)、『⑫コンビニなどでは、割りばし、使い捨てのスプーンやフォークはもらわない』(80.1%)が中学生と比べて10ポイント以上高く、中学生では『⑧公園や川、海や森、里山などで自然に親しむ』(66.0%)が市民と比べて12.5ポイント高くなっている。

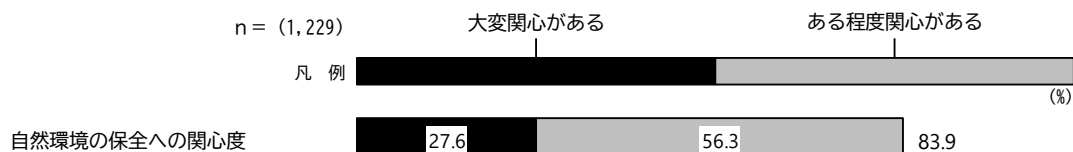
一方、市民、中学生ともに『環境に関する講座やイベントに参加する』が1割台と、他の項目と比べて10ポイント以上低くなっている。

(3) 自然環境の保全について

① 自然環境の保全への関心について

問 あなたは、自然環境の保全に関心がありますか。

【市民アンケート】

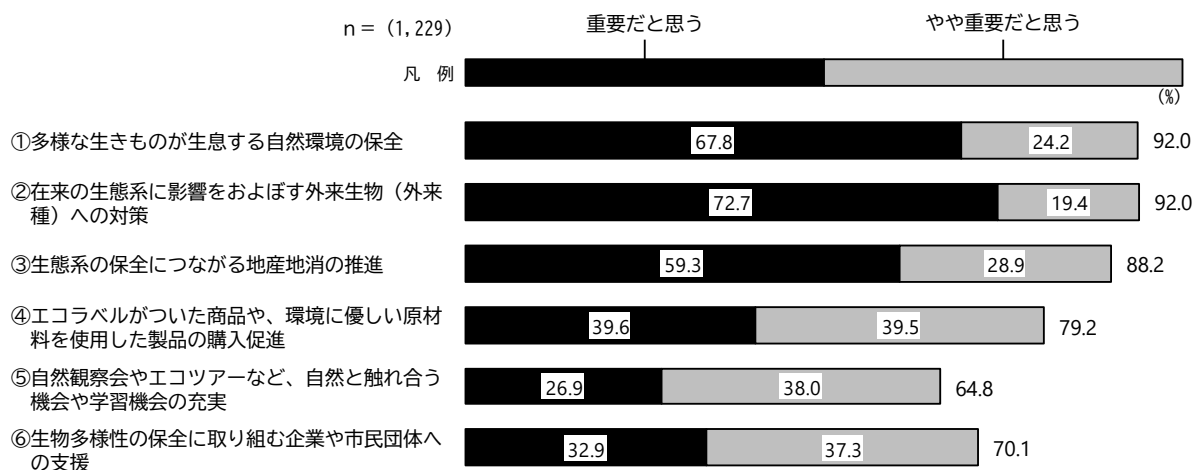


「大変関心がある」又は「ある程度関心がある」との回答について、83.9%と高くなっている。

② 生物多様性の保全について

問 生物多様性を保全するため、仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

【市民アンケート】



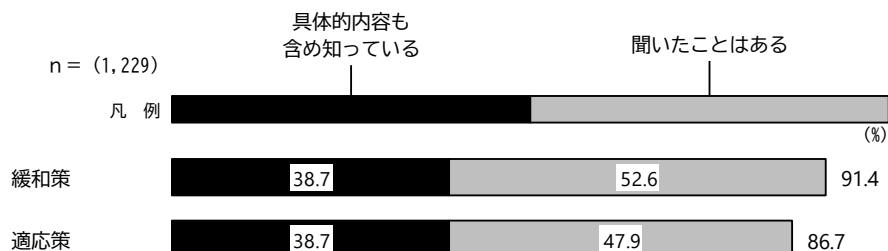
「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」との回答について、いずれも6割以上と高くなっており、特に『①多様な生きものが生息する自然環境の保全』、『②在来の生態系に影響をおよぼす外来生物（外来種）への対策』（いずれも92.0%）が最も高く、次いで『③生態系の保全につながる地産地消の推進』（88.2%）となっている。

(4) 地球温暖化対策について

① 地球温暖化対策の認知度について

問 地球温暖化対策には、温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出量を減らす【緩和策】と、豪雨等の自然災害、猛暑による熱中症など避けられない影響に対応し、被害の回避・低減のために備える【適応策】があることをご存知ですか。

【市民アンケート】



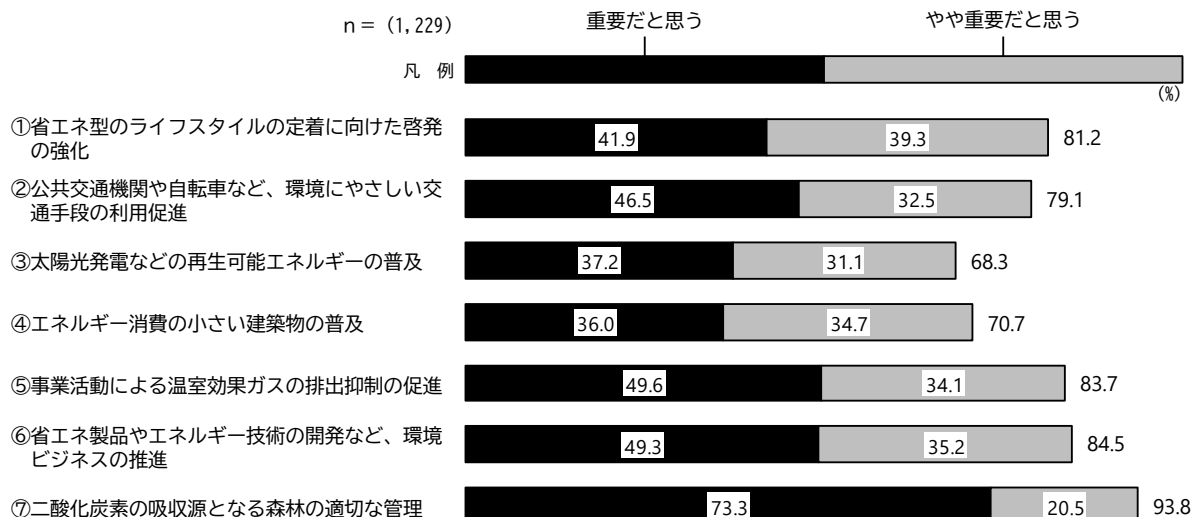
【緩和策】及び【適応策】で「具体的内容も含め知っている」がいずれも 38.7%、「聞いたことはある」が【緩和策】では 52.6%、【適応策】では 47.9%となっている。

②地球温暖化対策について

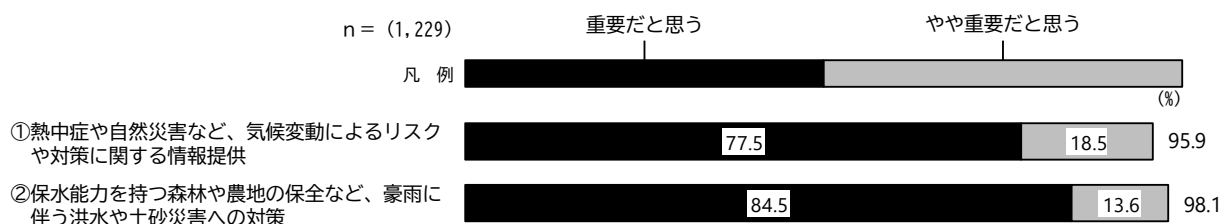
問 地球温暖化対策について、仙台市が取り組む施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

【市民アンケート】

【緩和策】



【適応策】



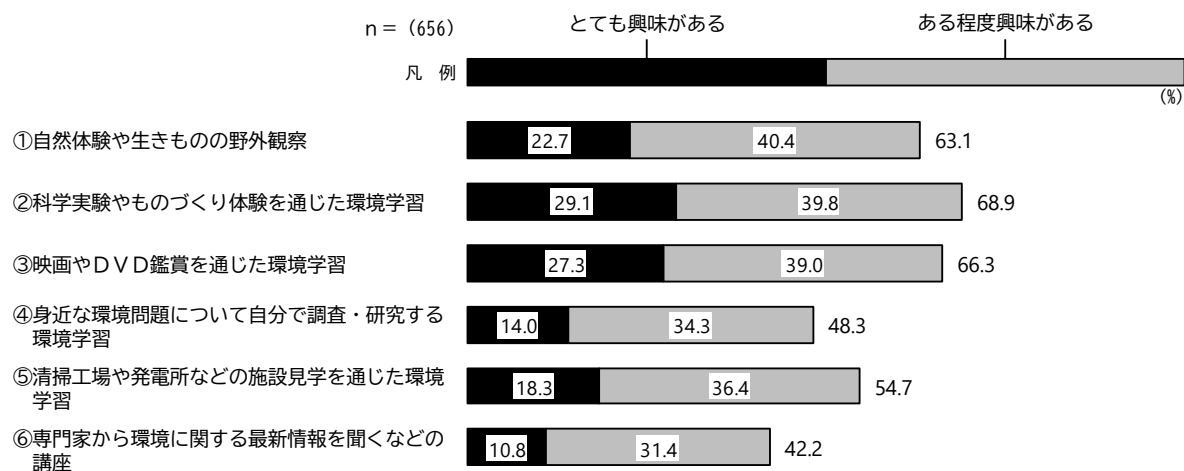
「重要だと思う」との回答について、【緩和策】では『⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理』が73.3%と他の項目と比べて20ポイント以上高くなっている。【適応策】ではいずれも7割以上と高くなっている。

「やや重要だと思う」を含めると、【緩和策】ではいずれも6割以上と高くなっており、特に『⑦二酸化炭素の吸収源となる森林の適切な管理』(93.8%)が最も高く、次いで『⑥省エネ製品やエネルギー技術の開発など、環境ビジネスの推進』(84.5%)、『⑤事業活動による温室効果ガスの排出抑制の促進』(83.7%)、『①省エネ型のライフスタイルの定着に向けた啓発の強化』(81.2%)となっている。【適応策】ではいずれも9割台と高くなっており、『①熱中症や自然災害など、気候変動によるリスクや対策に関する情報提供』が95.9%、『②保水能力を持つ森林や農地の保全など、豪雨に伴う洪水や土砂災害への対策』が98.1%となっている。

(5) 環境学習について

問 あなたは、次の環境学習に興味がありますか。

【中学生アンケート】

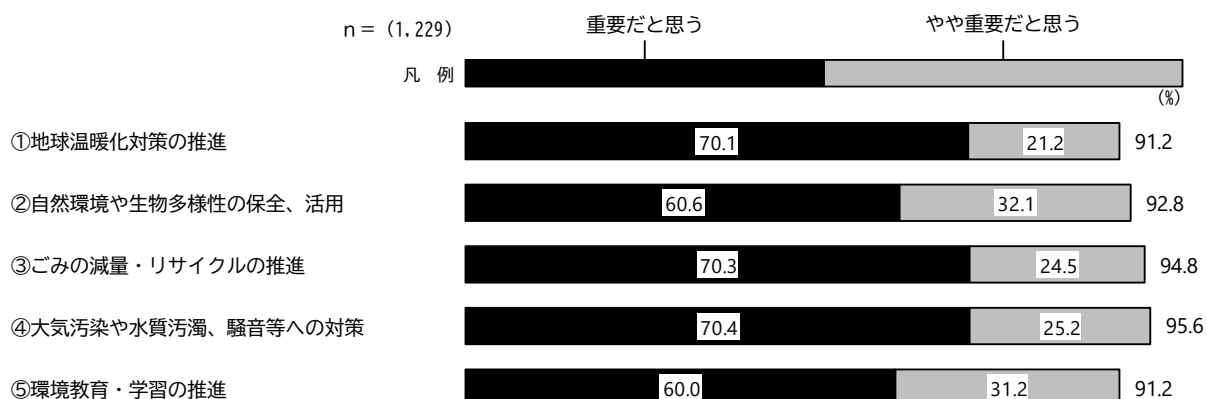


「とても興味がある」又は「ある程度興味がある」との回答について、『②科学実験やものづくり体験を通じた環境学習』(68.9%) が最も高く、次いで『③映画やDVD鑑賞を通じた環境学習』(66.3%)、『①自然体験や生きものの野外観察』(63.1%) となっている。

(6) 仙台市の環境施策について

問 今後仙台市が取り組む環境施策として、あなたは以下の各項目についてどのようにお考えですか。

【市民アンケート】

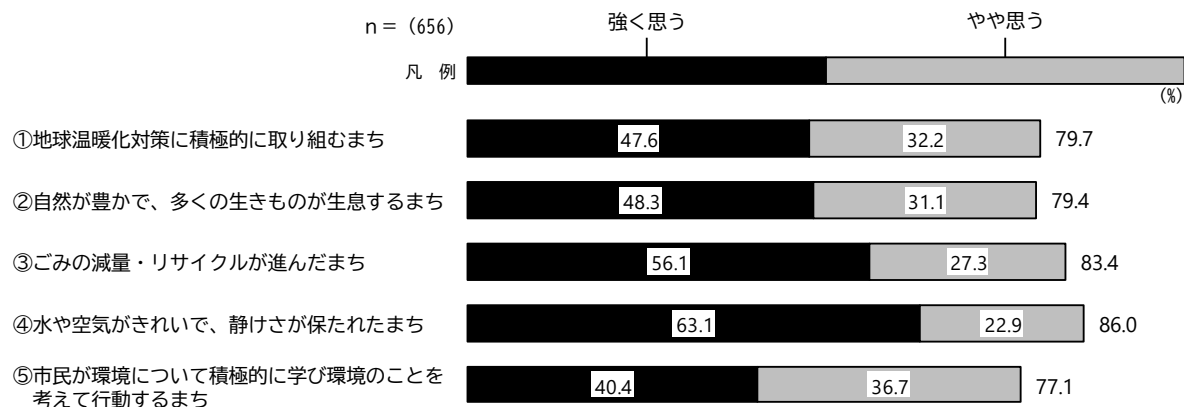


「重要だと思う」との回答について、いずれも6割以上となっており、「やや重要だと思う」を含めるといずれも9割台と高くなっている。

「重要だと思う」又は「やや重要だと思う」との回答について、『④大気汚染や水質汚濁、騒音等への対策』(95.6%)が最も高く、次いで『③ごみの減量・リサイクルの推進』(94.8%)、『②自然環境や生物多様性の保全、活用』(92.8%)となっている。

問 あなたは、将来、仙台市は環境面でどのようなまちになったら良いと思いますか。

【中学生アンケート】



「強く思う」又は「やや思う」との回答について、いずれも7割以上となっている。『④水や空気がきれいで、静けさが保たれたまち』(86.0%)が最も高く、次いで『③ごみの減量・リサイクルが進んだまち』(83.4%)となっており、市民と同様の結果となっている。

(7) 仙台市の環境行政へのご意見等について（自由意見）

自由意見についての回答者数は 457 人（市民アンケート 325 人、中学生アンケート 132 人）、意見数は延べ 590 件（市民アンケート 434 件、中学生アンケート 156 件）であった。
意見の内容に応じて項目ごとに分類した結果は、以下のとおりである。

意見分類		主な意見の概要
地球温暖化対策	環境負荷の小さい交通手段の推進	・公共交通の運賃や路線、便数等の見直しが必要 ・中心部のマイカー規制や、平日、公共交通機関を利用すると特典が有るような仙台市ポイント制度等が欲しい ・郊外部は自家用車がないと生活できない
	再生可能エネルギーの普及	・メガソーラーでの火災、自然環境への影響等が心配 ・森林伐採してまで設置しなくてよい
	省エネ行動の推進	・省エネ家電の購入などへの仙台独自の補助金制度が欲しい ・企業への指導、抑制、発言、協力を求める姿勢が欠けている
	気候変動による影響やリスクへの対策	・昨今の猛暑や豪雨などの気候変動に不安を感じる ・自然災害（豪雨）対策が必要
自然環境・生物多様性	豊かな自然環境や生物多様性の保全	・緑の都市＝仙台のイメージを今後も努力して欲しい ・環境教育を通じて、市民全体の意識を高めていくことが必要 ・森林伐採を減らす、新しい木を植えることも大切
	公園・街路樹などの身近なみどり	・街路樹がいたるところにあり、景観も環境にも配慮されている ・街路樹が伐採され、日かげがなくなってしまった ・公園の維持管理をしてほしい
	自然や生きものとのふれあい	・自然とふれ合う事が保全につながるとは思えない ・動物との関わりをもっと増やしていきたい
	野生鳥獣対策	・カラスと猫を何とかしてほしい ・近年、熊出没が多く郊外の山へ出掛けるのが減ってしまった
ごみ減量・リサイクル	ごみの減量・分別の啓発	・家庭での対策はもちろんだが、飲食店への対策もかなり重要 ・ペーパーレスにすれば紙資源をより節約できる ・ごみの分別の仕方（特にプラスチック類）がわからない ・リサイクルに対する活動は非常に進んでいると感じる
	ごみ出しルールの徹底・ごみ集積所の管理	・ゴミ出しの悪い地域には指導を行って欲しい ・ペットボトル・缶は一緒に出しても良いことを周知して欲しい ・子供等に被害がおよばないうちにカラス対策をして欲しい
	ポイ捨て・不法投棄対策	・タバコのポイ捨てが多い ・ペットボトルがけっこう落てる ・自然は多いがゴミも多いと思う
	ごみ収集のあり方	・資源紙の回収を毎週一回にしてほしい ・環境に良いこと＝暮らしの制限となっているような気がします
快適な生活環境	大気環境の保全	・ごみの減量やリサイクルによって、大気汚染を減らしたい ・公園の喫煙スペースをブース型にして欲しい
	水環境の保全	・にごっている川が多い ・井戸水、地下水の積極的な利活用をしてほしい
	景観の保全	・全体的には綺麗で整備されているが、国分町は対策が必要 ・仙台駅前の開発を迅速に進めてほしい
	空き家や道路などの草刈りについて	・道路脇の植え込みが雑草で覆われ、歩道が通りづらく、車道まではみ出して危険 ・公園があっても、草が生い茂っていて利用出来ない ・空き屋あり年々木、草がのびて大変
環境教育・学習	子どもの環境教育・学習の推進	・子ども達にも地道な教育活動を継続してほしい ・子どもへの環境教育が重要
	その他の環境教育・学習の推進	・ひとりひとりが意識出来るような何かが必要 ・大人の規範意識を正す必要がある
	情報提供の充実	・今行なっている取り組みを自然に知れるようにしてほしい ・杜の都であることでどう環境に影響しているのか知りたい
環境全般に係ること		・環境対策をもっと仙台として、PR する ・日本、世界、地球全体で環境問題を考える必要がある ・具体的な活動を通して自然災害に負けない環境行政を期待する